

1

2020  
Jan.

# 轉て 敬ぎ



新年のご挨拶

信のとびら

心をひとつに

1月のご奉公のすすめ

1月のお寺の行事予定

11月のご奉公日誌

七五三無事養育成長御礼

日農上人の思い出その4

今年度のご奉公テーマ「助行のすすめ」

助行は菩薩行 久野信友師

私のよろこび

私も甲御講の席主を

お供水でつないだ命

後続者育成活動報告

こどもたちの会

敬意と信心2



佛立本旨講妙應寺

モデル：ライ太  
(所沢教区・久米さん)

新年おめでとうございます。

昨年は、平成時代から令和時代へと元号も改まり、新たな天皇陛下の即位の礼など、なかなか目にすることのできない時代の節目を目の当たりにした一年でした。また、猛烈な台風による風や雨が日本列島を襲い、人々の生活に甚大な被害をもたらしました。地球の自然環境の変化が日常生活に影響を出しはじめ、世界中でこれから先の平穏な暮らしが脅かされる事態となっています。

一方お寺では、四月に日尚上人御

十七回忌を奉修、十二月には佛立第三世講有日随上人の百遠諱のお焼香をさせていただきます。妙應寺本堂に奉安されている大御本尊には、大正七年十二月中浣佛立第三世講有大僧正日随という署名があります。東京第二支部として独立し新たな活動を開始する乗泉寺を力強く後押ししてくださった御導師です。

その当時から数えると、現在の我々は三世代から四世代あとの信行相続者ということになります。百年にわたって伝承されてきた歴史の重みと妙法口唱の信心のありがたさを改めて見つめ直しましょう。

さて、本年八月には日晨上人の御三十七回忌をお迎えします。昭和

五十九年のご遷化ですので、日晨上人が  
くことが、日晨上人、日尚上人から  
私たちに託された御奉公です。

五十九年のご遷化ですので、日晨上人が  
お元気で活躍なさっていた当時  
を直接知っている御信者は数少なく  
なりましたが、現在の御奉公の形は  
ほぼ日晨上人の御教導によるもので  
す。これまでと変わらず現証御利益  
のいただける信心を、これから先に  
向かって三世代、四世代と伝えてゆ

総誓願の趣旨に則り、塔婆建立や  
応援祈願という信者相互の協力関係  
を一層充実させて、本年の御奉公を  
実りあるものにしてゆきましょう。

水谷信洋



# 心をひとつに



ご弘通の元は、異体同心にあります。異体同心と口に言うことは簡単ですが、行なうのは難しいものです。異体同心とは互いに信心を中心として団結をすることをいいます。体は異なれども心と同じくすると訓みます。体は別々ですが心は同一ということですから。同心とは、仏祖の心、御宝前のお心、御法のみ教えに沿うことです。

しかし、これがなかなか難しいのです。我々凡夫は、自己中心的な心や懈怠や罪障に引きずられてしまうことが多いからです。

どのようなにして、異体同心のご奉公環境をつくればよいのでしょうか。それは、御指南を中心としてお題目を弘め、お寺の方針に従って弘通発展のためにご奉公することです。寺内の様々なお役の信者、

世間で様々な立場をもつ信者が、この一点において心をひとつにする、そこに異体同心が成り立ちます。

異体同心のため、古来より六和合という六つの心得が教えられています。

第一は、「身しん和わ」です。体のご奉公ということ、お寺やお講参詣或いは助行などのご奉公を皆が協力して実行することです。

第二は、「見和」です。見とは意見のことで、考え方を同一にすること。御指南を中心として皆の意見が一致することです。

第三は、「語和」です。言葉ひとつで、丸くも収まることもあるし角が立つこともあります。ご披露などは、間違いや誤解が生じないように心がけ、教区内、班内、全てに伝わるように、よく考えてほしいものです。

第四は、「思和」です。思とは、感情や感覚のことです。苦楽を共にする間柄を作ることです。喜びや苦しみを分か

ちあつて思いをひとつにするため、助行などに励み信者どうしこころを繋ぎあいましう。

第五は、「戒和」です。戒とは、戒めや約束ということになります。謗法の戒めを厳格に守り、約束を守り、身勝手な行動を取らないようにすることです。

第六は、「利和」です。ご奉公は、人の厭がることを率先して引き受け、世間的な損得勘定に流されない心が大事です。

以上の六和合が異体同心の秘訣です。この異体同心が弘

通ご奉公の最重要事項です。

一言でいえば、開導聖人が常講歎読滅罪抄に「異体同心と口にのみいひて我慢強く同破の事」と仰せられてる、これです。互いの信心を傷つけ、随喜を低下させ弘通ご奉公の妨げとならぬよう、お互いに御指南に沿ってご弘通ご奉公のお役に立つ信者となりましょう。

最後に、開導聖人のご教歌です。

へ中々にみのり弘むる

邪魔ならん

異体異心の 人の多きは

# 1月のご奉公のすすめ

## 今年度のご奉公テーマ「助行」

今年の八月には「日晨上人御三十七回忌」をお迎えします。「先師上人への報恩の思い」を

もって班内助行につとめ、弘通意欲を盛り上げましょう。

## 今月の「随喜轉教」

「有難<sup>ありがた</sup>弥助<sup>やすけ</sup>」の信心を手本にして家族にもよろこびの体験を語り、「ありがたい、ありがたい」と伝え続けましょう。親がよろこんで信心していればこそ、家族にも御宝前を大事に思う信心が伝わってゆきます。

## 二月の「ご奉公のポイント」

### 一、門祖会

春のお会式門祖会は、2月23日<sup>日</sup>に奉修されます。2月9日<sup>日</sup>までに奉修費、御供米料、お花料は教区でまとめて寺務所に奉納下さい。参詣人数は受持ち講師に報告下さい。家族や知人

にお会式参詣の大事を伝え早めの参詣将引を願います。車でお参詣の方には駐車料金をお寺でお支払い致しますので、普段お寺参詣出来ない家族や歩行困難の方を積極的に誘いして下さい。

### 二、御降誕会総講

2月9日<sup>日</sup>10時半より高祖大士御命日総講に併せて御降誕会総講が奉修されます。日蓮聖人の大恩を話題にして、早めの参詣将引を心がけてください。2月16日のお誕生日には、自宅でもお赤飯をお上げさせて頂きましよう。

尚、お誕生をお祝いする「れんげまつり」は3月8日<sup>日</sup>に開催されます。

### 三、令和2年度の役員申請

令和2年度の教区・連合、寺内役員を選出し2月末日までに申請願います。新しい方にもお役を受けて頂けるよう勧めて、後継者育成を考えて下さい。

# 1月の寺内予定

日 程	行 事	時刻
元日 水	元旦会	6時半
	六角堂初お看経	10時
1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間	
3日 金	初総講・祝杯式	10時半
	教講初顔合わせ 第一地区和室/第二地区2階ホール/第三地区1階ホール	12時半
4日 土	運営会議	9時半
	事務局長候補者選考会	10時半
	成人式申込締切	
5日 日	教講御奉公始め（御奉公成就総言上）	
	日教上人御祥月御塔婆申込締切	
6日 月	寒参詣開始 勤行午前7時（御法門午前7時45分）	
11日 土	連合幹事会	9時半
	後続者育成連絡会	10時半
13日 月	開講記念総講（高祖大士御命日総講に併修）	10時半
	授級褒賞「彰功の記」授与式	
17日 金	日教上人御祥月法要（開導聖人御命日総講に併修）	10時半
19日 日	口唱会（第1地区、財務）	9時半
	若い人の口唱会	10時半
25日 土	門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会 第一地区和室/第二地区2階ホール/第三地区1階ホール	12時半
26日 日	成人式	11時
31日 金	佛立本旨講初灯明料奉納締切	
	初御供米料奉納締切	
	寒供養奉納締め締切	

## 四、令和元年度第3回信徒講習会

令和元年度最後の信徒講習会を左記の通り開催いたします。

テーマは「ご回向パンフレットの紹介」「以信得入の回向談」の読み聞かせとアクティブラーニングを行います。なおQ&Aは乙御講で取り組めます。

講習会でも御講でも、信心の喜びを家族に話す練習と思つて積極的に体験談を語りましょう。

2月11日(火) 祝  
2月15日(土)  
2月24日(月) 祝

写真下は、11月23日のアクティブラーニング



## 七五三無事養育成長御礼

# 子どもたちの成長を願う



去る11月24日(日)、七五三無事養育成長御礼言上式がおこなわれました。

当日は6名のお子さんご家族

がお参詣され、御導師から手

渡される記念品を嬉しそうに受

け取っていました。お参詣され

たお子さんの姿を見ると、その

成長の早さに驚かされます。

御導師からは、「七五三のよ

うな節目節目のお参詣も大事

なことですが、月々の御祈願を

立てて進んでいくことも大切に

す。感謝の思いを持てる子どもに育ってほしい」というお話しをいただきました。

7歳以下のお子さんは、七五三に該当しなくても申込みができます。

子どもたちの成長を願う心を忘れず、ご奉公させていただきます。







富士山に迎えられて  
**聞泉寺団参**

聞泉寺高祖会の団参は11月10日(日)に第二地区の担当で行なわれました。

当日は天皇陛下の即位パレードが3時から行なわれるため、都内の交通規制があり、返つて車も少なく、順調に三島に到着しました。

他教区からの応援もあり、日本晴れの中、雪を頂いた富士山に迎えられ、楽しく参詣させていただきました。

目黒教区 Nさん



## 令和2年11月行事報告

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日	金 開講本旨再興祈願総講を午前10時30分より奉修
2日	土 運営会議を午前9時30分より開催
3日	日 口唱会を午前9時30分より奉修 (担当文教部・第二地区) 若い人の口唱会を午前10時30分より奉修
5日	火 信徒講習会第一回を午前9時30分より開催
9日	土 連合幹事会を午前9時30分より開催 後継者育成連絡会を午前10時30分より開催
10日	日 団参・聞泉寺(三島)高祖会 担当第二地区 七五三無事養育成長御礼言上式申込締切
13日	水 高祖大土御命日総講を午前10時30分より奉修
16日	土 信徒講習会第二回を午前9時30分より開催
17日	日 開導聖人御命日総講を午前10時30分より奉修
23日	土 信徒講習会第三回を午前9時30分より開催 (P7写真)
24日	日 七五三無事養育成長御礼言上式を午前11時より奉修 蓮華会・くんげ会合同御講申込締切
25日	月 門祖聖人御命日総を午前10時30分より奉修 正副教区長会を午後12時30分より開催

# 日晨上人の思い出

神野照報師



子供の頃から伯母に、日晨上人は仏立宗で一番偉い人と教えられていました。

その日晨上人からお菓子を頂いた事があります。伯母に連れられて乗泉寺に参詣していた時

の事です。出入り口の傍らかたわに大きな長火鉢があり、何時もは大勢の人達が火鉢を囲んで話しているのですが、当番の方も誰もいないので、火箸で灰の中から炭を掘ったり、灰均しで山を作って遊んでおりました。伯母が本堂に私が出来ないのを心配して捜しに来たら、長火鉢で遊んでいたの、大変怒られました。そこに日晨上人と隨身の方二人が通られて、「君は無始己来を大きな声で唱える子だね。今日もお参詣偉いね。将来お坊さんだね」と言って、隨身の方に、庫裡からお菓子を持ってきてあげなさいと仰ったので、叱っていた伯母は恐縮して、ただありがとうございます、と何回も頭を下げていました。

私は遊び盛りの五歳だったの  
で、小言が中断した事が嬉しく  
て、何を言われたのかは覚えて  
おりませんが、頂いたマシユマ  
ロとフルーツゼリーは初めて食  
べるお菓子なので、ハッキリと  
覚えております。それからの伯  
母は、朝のご宝前のご挨拶はし  
たのとか、オヤツをお下げする  
時フクメンをしたの、お題目を  
十辺唱えたの、と大変厳しくな  
りました。それが嫌で逆らって  
やらないと、「日晨上人から言  
われた事を忘れたの、将来お坊  
さんになるって言われたのよ」と  
サボル毎に言われたことが、  
今現実となり、先見の明に  
驚かされます。

(上の写真は、御講尊田中日晨上人御80歳  
記念、新宿西連合根元甲席にて。  
本文とは関係ありません)

日晨上人の思い出話、思い出のお写真などをお寄せください。  
今年8月の三十七回忌法要に向かって準備を進めております。

## 鍊成会でご回向に ついて学びました

第三地区鍊成会が11月9日<sup>土</sup>に開催されました。

第一部は本堂でお看経、法話は「御回向は幸せのブーメラン」のパンフレットを使って「以信得入」の中の話や現在の信者さんの御利益体験などを用いて御回向の大切さを分かり易くお話し頂きました。

第二部は和室にて来年の日晨上人御37回忌に向けて、上人の思い出話などを話し合い、報恩御

奉公に邁進させて頂こうと決意を新たにいたしました。

最後に楽しいクイズやビンゴゲームをして賞品をいただいで素敵なひと時を過ごせました。

第三地区長 Iさん

## 名古屋教区 特別御講を奉修



十一月十六日に名古屋教区特別御講が奉修され、席主のKさんと同居するMさんご夫妻にとつては記念すべき新居での初

のお講席となりました。写真の通り大勢の応援参詣者と家族に囲まれて、御講奉修後には家族の歴史を振り返るビデオ鑑賞と、子供達から節さんと両親にあてられた感謝状が披露され、家族の強い絆を感じました。節

さんへ宛てられた感謝状は次のような内容でした。

「あなたはこれまで多くの苦難を強い信念を持つて乗り越えてこられました。そして接するすべての人に対して愛と情熱を持って元氣と笑顔を与えてくれました。その並々ならぬ長年のご苦勞に対し心から感謝の意を表します。



## 私も甲御講の席主を

みたか教区 Nさん

せんが、連合の皆様が協力して下さり本当にありがたく、感謝申し上げます。

私も以前は甲御講の席主をいただいておりますが、家族の事情などいろいろとあり、二十年近く席主を頂くことが出来ませんでした。この新本堂に移りましてから庫裡の御宝前をお借

りして奉修させて頂ける事を知り、私もいつかさせて頂きたいと思っております。今回機会をいただきまして無事奉修させて頂きました。うれしさで一杯です。私一人では何も出来ま

来年もまた元気で奉修させて頂けます様に御法様にご祈願しておすがりさせて頂こうと思っております。

## お供水でつないだ命

長野教区 Tさん

私は二十一歳の時医師から母子感染によるB型肝炎ウイルスの感染を告知されました。男性の場合は十年間隔で悪化する可能性があるとの事でした。その後も定期的に病院で検査を受けていたのですが、二十九歳の

時に微熱と嘔吐感が続き風邪と悪い病院に行きました。やはり風邪と診断されました。薬を頂きしばらく飲みましたが一向に良くならず一ヶ月間、食欲も無く、眼には黄疸が出て尿にも黄疸尿がでました。その後、姉が

主治医の先生に連絡すると、土曜日の為、とりあえず近くの大きな病院に連絡するのでこちらに行って入院してくださいとの事。病院に行き血液検査をして待つていました。すると現段階では方が一の場合に、こちらでは治療出来ないのです、すぐに主治医の居る病院の方へ行つて下さいといわれました。もう夕方でしたが入院の準備をして義兄





の運転で主治医の病院へ向かいました。既に地元の病院から検査結果が来ていたようで入院説明も無く、医師看護師に囲まれ治療を受けました。内心これで助かったと思いました。しかし、家族には厳しい状態だと医師から告げられていたそうです。その後、家族始め、教区やお寺の方々にも応援祈願を頂き、皆の思いが入ったお供水を頂かせていただきました。三ヶ月間入院致しましたが、その後医師も驚くほどの回復でした。あの日から二十五年の日々が経過しましたが、健康で過ごせることへの感謝と病床に臥していたときにお供水の力で頂いた命に感謝し、これからもご奉公に励んで参りたいと思います。

## お供水さんで戴いた数々の御利益

10月27日、長野教区のTさん宅で奉修された甲の御講に、御導師にお供して担当護法委員としてお参詣させていただきました。

ご法門は、お供水さんについて。「お供水さんにおすがりしよう」と決めた瞬間に治つてい

る」と、聴聞させていただきました。

その後、右頁の席主の御利益談の他、お参詣のみなさんからも沢山の体験談を伺いました。

「咳が出るとお油さんをなめるとすぐ止まる」(Eさん)、「血糖値が250以上もあり、一日3日のお供水さんを頂いたら3日で120まで下がった」(Yさん)、「带状疱疹で葉を飲んだために腎臓も悪くなった。一切薬を止めお供水さんだけにしたら良くなった」(Sさん)、「心筋梗塞で入院したが、お供水さんで治しました」(Tさん)等々。



## 「次世代に回向の功德を」

杉並教区 I さん

本日は、第三地区杉並連合の  
Hさん宅で、後続者育成助行を  
開催させて頂きました。

Hさんには長男と長女の二人  
の子供さんがいます。それぞれ、  
家庭を持ち子供さんもいます。  
早速、御講師の方から、信行相  
続のご奉公は如何ですか？伝え  
られていますか、と問いかけら  
れました。そして、御講師から、  
子供さん達の信行相続を願う為  
にも、毎月、子ども達の有縁無  
縁のお塔婆を上げて根気よくご  
祈願するように、お折伏をいた  
だきました。

また、十一月は、Hさんの御  
主人の一周忌にあたるので、法

要をさせて頂きましよう。そし  
て、お寺の永代過去帳に入れて  
頂くように勧めてくださいまし



帰寂された父  
親のKさんの長  
男、Mさんが、  
ご本尊を拝受さ  
れました。

Mさんは、父親のKさんの入  
院中、ご信者の皆さんが、毎朝、  
病気全快のご祈願をしていると  
聞き、このご信心の、有難さが  
分かり、又、この度父の葬儀に  
当たり、朝のお看経の後お導師  
をはじめ、御講師や、大勢のご  
信者の、御焼香を頂き、改めて

た。信行相続を願って、助行に  
参加された大勢の信者さんの熱  
のこもった素晴らしいお題目が  
上がりました。

信行相続を決意されました。ご  
本人は、私なりに頑張ります、  
との事です。



## 助行は菩薩行

久野信友師



へ法門を聞かぬ間は凡夫にて  
仏のちゑの出るよしなし

と云う御教歌があります。

この御教歌の御意は、此度た  
またま妙法の御信心に巡り会え  
た信者でも、仏様の教え「御法  
門」を聴聞させて頂かなけれ  
ば、三世にわたる因果の道理を  
知って良い種蒔に努力する事の  
大切な事も、人の幸せを願って  
させて頂く信行はすべて我が身  
に返って福德となる事も判りま  
せんから、常に煩惱に任せて一  
生を終え、来世も又苦しみの連

鎖（六道輪廻）から抜け出す事

は出来ません。従って正しい信  
行を身に付け仏様の御意に叶つ  
た信者となり来世は成仏の果報  
を頂く為には、どうしてもお寺  
参詣とお講参詣に務めて御法門  
を聴聞させて頂く必要があります。

所が入信して御本尊を家にお  
迎えた方でも又縁あつて信者  
の家に生れ合わせた方でありま  
しても、全く御法門を聴聞した  
事がない方がいらつしやいま  
す。この様な方にお寺参詣とお  
講参詣を奨めて現証利益の頂け  
る信者に育成するご奉公が助行

と云う菩薩行です。

平成19年4月の轉教にお導師  
は、「佛立本旨講百年の計は不  
軽助行を徹底して実行し応援祈  
願をすゝめて現証利益が頂ける  
信者を増やす事です。又その経  
験を語り合う場所が助行の席で  
す。そしてもう一つ御法門で聴  
聞した良い話しを必ず伝えお寺  
参詣お講参詣の意義を話して来  
て下さい」  
この様にご教導下さいまし  
た。



# 令和2年 年回忌一覧表

第一回忌	第三回忌	第七回忌	第十三回忌	第十七回忌	第二十三回忌	第二十七回忌	第三十三回忌	第三十七回忌	第五十回忌
平成 <sup>31</sup> 年令和卒帰寂 (2019年)	平成30年帰寂 (2018年)	平成26年帰寂 (2014年)	平成20年帰寂 (2008年)	平成16年帰寂 (2004年)	平成10年帰寂 (1998年)	平成6年帰寂 (1994年)	昭和63年帰寂 (1988年)	昭和59年帰寂 (1984年)	昭和46年帰寂 (1971年)

## ご回向の心得

- ・「ご回向は幸せのブーメラン」パンフレットにあるように、ご回向は弔いだけに止まらず、いじめやパワハラなどの人間関係による苦難を乗り越え、健康の御利益をもたらす力があります。
- ・両親祖父母など、命を授けて下さった方々へ感謝する心で、塔婆を建て回向言上をお願いする習慣をつけましょう。
- ・先祖代々のご回向の他にも、お世話になった方やご縁のあった方々への弔いも大切です。
- ・水子も過去帳に記入し、忘れずにご回向すると家族の健康などに思いがけない御利益がいただけます。

### 開導聖人御教歌

へなきたまの名を

いつまでもしるしおきて

佛立講でとむらわんとよ



# 令和2年 主要行事予定表



1月1日(水)祝	元旦会 事教院六角堂初御看経
1月3日(金)	初総講・祝杯式・教講初顔合わせ
1月6日(月)～2月5日(水)	寒参詣
1月13日(月)祝	開講記念総講 (高祖大士御命日総講に併修)
1月17日(金)	日教上人御祥月法要 (開導聖人御命日総講に併修)
1月26日(日)	成人式
2月9日(日)	高祖御降誕会総講 (高祖大士御命日総講に併修)
2月23日(日)	<b>門祖会</b>
3月8日(日)	れんげまつり (高祖大士御命日総講に併修)
3月20日(金)祝	春季彼岸総回向法要
3月28日(土)	事務局御講
3月29日(日)	団参 聞信寺 (門祖会)
4月19日(日)	日尚上人祥月法要・佛立本旨講創立記念式典
4月26日(日)	立教開宗記念五時間口唱会
5月24日(日)	蓮華会錬成会
5月31日(日)	日歆上人祥月御命日法要
6月21日(日)	<b>開導会</b>
6月28日(日)	団参 聞泉寺 (開導会)
7月1日(水)～31日(金)	夏期参詣
7月19日(日)	夏季総回向法要
8月23日(日)	くんげ会・蓮華会合同御講
8月30日(日)	<b>日尚上人御37回忌法要</b>
9月6日(日)	竜の口御法難記念口唱会
9月22日(火)祝	秋季彼岸総回向法要
10月18日(日)	<b>高祖会</b>
11月8日(日)	団参 聞信寺 (高祖会)
11月22日(日)	七・五・三無事養育成長御礼言上式
12月6日(日)	蓮華会・くんげ会合同御講
12月20日(日)	男性信徒会御講

## 渋谷・港教区 中村泰子さんの思い出



渋谷・港教区 石渡日出子

姪御さんのお住いの近くの施設に入られて、お題目のお支えを頂けることを誇りに生きられた九十一歳の生涯でした。赤いベレー帽のお姿を覚えて下さる方もいらつしやいますでしょう。渋谷の頃こんな俳句を投稿されました。

- ・ 朝詣り石段ぬるみ足軽し
- ・ 祖師まなこの眼怒りておわす胸痛む
- ・ 澄みわたるみ堂引締しむ口唱さえ
- ・ 窓陽さすステンドグラス春近し
- ・ 松とれて、梅、桃、香り蓮華祭
- ・ 寒き日は陽だまりにさく談話花

# ★こどもたちの会★

うやま しんじん

## 「敬いが信心2」



新年明けましておめでとうございます。

昨年は四月に日尚上人の御十七回忌法要を奉修させて頂きました。諸行事も滞りなく奉修させて頂きありがとうございます。



本年は日晨上人報恩ご奉公の年です、八月に御三十七回忌法要を奉修させて頂きます。なぜ、佛立本旨講創立をさせて頂いていたか、再確認させて頂く良い機会の年とさせて頂きましよう。ご奉公よろしくお願ひします。本年もよろしくお願ひします。

事務局長 山本久男

轉教

令和2年1月1日発行 第21巻第1号 通算239号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人